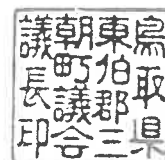




令和6年9月25日

鳥取県社会保障推進協議会
会長 藤田安一様

三朝町議会議長 吉田道明



審議結果について（通知）

2024年8月23日付で提出されました2件の陳情は、令和6年9月24日に本町議会において、下記のとおり決定いたしましたので通知します。

なお、採択された陳情については、別紙に記載の機関に意見書を提出いたしました。

記

- 1 現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう国に意見書をあげるよう求める陳情書… 採択
- 2 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書 … 不採択

【連絡先】

〒682-0195

鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999-2

三朝町議会事務局

TEL 0858-43-3511

議員提出議案第7号

現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう求める意見書

このことについて、次のとおり、内閣総理大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣に意見書を提出する。

令和6年9月24日

提出者	三朝町議会議員	能見貞明
賛成者	三朝町議会議員	吉村美穂子
賛成者	三朝町議会議員	吉田道明
賛成者	三朝町議会議員	石田恭二
賛成者	三朝町議会議員	松原茂隆
賛成者	三朝町議会議員	河村明浩

現行の保険証とマイナ保険証の選択制を堅持し、現行の保険証を廃止しないよう求める意見書

政府はマイナンバーカードに健康保険証機能を組み込んだ「マイナ保険証」の普及のため、2024年12月2日に現行の健康保険証を廃止するとしているが、「マイナ保険証」をめぐる問題は問題が続出し、多くの国民が不安を抱えている。窓口で無効と判断されて医療費の10割が請求された事例や他人の情報がカードに紐づけられていたケースが判明するなど、国民の健康や生命に重大な影響を及ぼす恐れのある深刻な問題が顕在化している。こうした事態に被保険者や医療現場からも懸念の声が上がっている。とりわけ、認知症高齢者をはじめとするデジタル弱者にとっては家族等の手助けがあって初めてマイナンバーカードを申請、取得し、さらに暗証番号の管理、診察のたびにマイナ保険証を持参することなど、容易ならざることを踏まえると、稚拙な一本化は、健康保険証を持つことができない「保険証難民」の発生さえ危惧され、国民皆保険が根底から揺らぐ事態になりかねない。いま必要とされることは、何ら不都合なく使っている健康保険証を存続させて、現行保険証とマイナ保険証の選択制を打ち出していた原点に立ち返るために政府の冷静な判断が求められている。

上記の趣旨から、国におかれては、次の事項について実現されるよう、強く要

望する。

記

1. マイナンバーカードと一体化されたマイナ保険証の取得は、申請による任意の判断のみに基づくとの原則を明確にすること。
2. 現行の保険証を存続させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年9月24日

鳥取県東伯郡三朝町議会